

平成 25 年 9 月 4 日

各 位

会社名 株式会社 新生銀行
代表者名 代表取締役社長 当麻 茂樹
(コード番号 : 8303 東証第一部)

木質バイオマス発電事業および木質ペレット製造事業に対するシンジケートローンへの参加について

当行は、株式会社四国銀行(高知県高知市、取締役頭取 野村直史)と株式会社みずほ銀行(東京都千代田区、取締役頭取 佐藤康博)が組成した、株式会社グリーン・エネルギー研究所(高知県香美市、代表取締役会長 永野正展、代表取締役社長 那須清吾)が実施する木質バイオマス発電事業および木質ペレット製造事業に対する総額 27 億円のシンジケートローンにコ・アレンジャー(副幹事行)として参加いたしました。

グリーン・エネルギー研究所は公立大学法人高知工科大学マネジメント学部学部長の那須清吾氏、同地域活性化研究室長の永野正展氏などが高知県内における未利用の間伐材や端材を活用した木質バイオマス発電事業および木質ペレット製造・販売を行う目的で平成 24 年 7 月に設立、地域密着型の産学官連携事業として地元企業や高知県などの協力を得ながら、事業化を進めています。グリーン・エネルギー研究所では、今後、高知県宿毛市に木質ペレット製造施設および木質バイオマス発電施設を建設し、両施設の本格稼働後、電力会社への売電事業を行うとともに、ハウス農家や公共施設などに対し、木質ペレットの販売事業も行います。

当行では、平成 25 年 4 月からスタートした第二次中期経営計画における法人向け業務戦略の一環として、再生可能エネルギー事業を重点分野の一つと定め、取り組みを強化しています。また、法人部門の支店営業推進機能強化のため、平成 25 年 4 月に西日本統轄室を新設し、西日本の支店における事業参画を通じた企業・産業・地域の成長支援を含め、金融商品とサービスのさらなる拡充と顧客基盤の一層の拡大に積極的に取り組んでいます。産学官連携で進められるバイオマス発電事業へのファイナンスに地域金融機関などと協調して取り組むこととなる本件は、これらの戦略的な取り組みの成果の一つであり、当行では、今後とも再生可能エネルギー事業に対するファイナンスに積極的に取り組んでまいります。

【本事業の概要】

所在地 : 高知県宿毛市平田町高知西南中核工業団地 区画 C
施設概要 : 木質ペレット製造施設:
生産能力:5,000t/年 最大 15,000t/年
木質バイオマス発電施設:
発電出力:6,500kw(約 11,000 世帯の年間電力使用量相当)
敷地面積 : 39,117 m²
事業会社 : 株式会社グリーン・エネルギー研究所

【株式会社グリーン・エネルギー研究所の概要】

名称 : 株式会社グリーン・エネルギー研究所
代表者 : 代表取締役会長 永野正展
代表取締役社長 那須清吾
所在地 : 高知県香美郡土佐山田町宮ノ口 185
高知工科大学地域連携機構内
事業 : 木質バイオマス発電および木質ペレットの製造
設立年月日 : 平成 24 年 7 月 30 日
資本金 : 200 百万円

【本シンジケートローンの概要】

借入人 : 株式会社グリーン・エネルギー研究所
組成金額 : 総額 27 億円
参加金融機関 : 株式会社四国銀行(アレンジャー(主幹事行))、株式会社みずほ銀行(アレンジャー(主幹事行)およびエーエージェント(貸付事務代理人))、株式会社新生銀行(コ・アレンジャー(副幹事行))、ほか 3 行
契約締結日 : 平成 25 年 9 月 4 日

以上